東京大学国語研究室蔵　黒川文庫目録〈辞書之部〉ら～を

藤本　灯・林　禔映・田中　草大
南雲　千香子・小野　響太

本稿は、東京大学国語研究室蔵黒川文庫〈辞書之部〉「ら」～「を」の目録である。「あ」～「う」、「え」「お」、「か」～「さ」、「し」「す」、「せ」～「ね」、「は」～「よ」については、それぞれ『日本語学論集』第六号（2010）、第七号（2011）、第八号（2012）、第九号（2013）、第一〇号（2014）、第一一号（2015）に既収である。

また、各部の補訂として、本稿末に以下の書を収めた。

（か）「仮字拾要」「漢呉音図」（26-37、第八号収録内容の訂正版）「漢字三音考」（27-291、同上）
（し）「新撰和訓部類」
（に）「二中歴」（二種）
（ほ）「墨林奇標」
（や）「倭名所夢の歩行路」

洛陽往来并文章　らくようおうらいならびにぶんしょう

林泉堂

刊一巻一冊　江戸後期　27-308　L66608

○江戸後期刊、袋綴、熨斗目花色無地原表紙、楮紙、26.4×18.0㌢、無辺、無界、二〇丁、一頁四行、漢・平、序跋なし、広告（林泉堂先生發行書目）、他九冊と合帙
〈印記〉道、帝図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（右・直・朱）弘化三年版
〈外題〉『洛陽徃来并文章』
〈見返し〉芝泉堂先生門人／林泉堂先生書／洛陽徃来并文章／東都書林　山青堂梓
〈内題〉・見返し…『洛陽徃来并文章』
〈巻尾識語〉以書肆所望令禿染早
芝泉堂先生門人

林泉堂
暘嶂書
弘化三丙午仲春

六藝名義解　りくげいめいぎかい　宮崎栗軒

刊一巻一冊　江戸後期　27-335　L66631

○江戸後期刊、袋綴、水色無地原表紙、楮紙、23.4 × 15.7 ㌢、単辺、無界、三九丁、一頁一〇行、漢・平、訓点付刻、絵図（墨印、井儀図 等）、白水間宮士信序、畏斎跋、少虫損、他一〇冊と合帙

〈印記〉頼、道、前、帝図、〔東大〕、国語、「掃葉山房蔵書」、他一種

〈外題〉『六藝名義解　全』

〈内題〉・巻首・尾・小口下…『六藝名義解』

両音辨疑　りょういんべんぎ

刊一巻一冊　江戸初期　27-350　L67399

○江戸初期刊、袋綴、灰汁色無地原表紙、楮紙、16.1 × 11.1 ㌢、単辺、無界、二二丁、一頁八行、漢・片、訓点付刻、書入（墨）、序なし、延宝八年（1680）林子跋、少虫損、他六冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、東図、〔東大〕、国語

〈外題〉『両音辨疑』

〈内題〉・巻首・尾…『兩音辨疑』
・小口下…『兩音弁ギ』
・柱…『廣益三重』

〈刊記〉寺町通二条下ル丁
書肆中村五兵衛　重刻

両仮名雑字尽　りょうがなぞうじづくし

刊二巻二冊　江戸中期　27-238　L62981・62982

○江戸中期刊、袋綴、藍墨茶色卍繋ぎ地に牡丹唐草紋（艶出）原表紙、楮紙、27.6 × 19.0 ㌢、無辺、無界、上二四・下二四丁、一頁四行、漢・平、序跋なし、前表紙・後表紙・見返しに松嶋某による書入（墨）

〈印記〉道、帝図、東図、〔東大〕、国語、「遠州や松嶋上石田」

〈外題〉『両假名雑字盡　上』

〈内題〉・巻首…『両假名雑字盡〈りやうがなざうじつくし〉〈「雑字盡」左訓）まじわりあさなことゞ〳〵く〉』
・小口下…『いろは両仮名尽』

〈刊記〉四条門通東洞院東江入町
水田甚左衛門開板

両教証注　りょうきょうしょうちゅう　振鷺亭

刊二巻一冊　江戸後期　27-308　L66604

○文化一三年（1816）刊、袋綴、熨斗目花色巻雲紋（押型）原表紙、楮紙、25.6 × 18.0 ㌢、単辺、墨界、五九丁、一頁八行、漢・平、訓点付刻、書入（朱墨）、文化一三年自序、濱専輔跋、少汚損・少虫損、広告、他九冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉（右・直・朱）実語教

童子教

〈外題〉『両教證注』

〈見返し〉振鷺亭先生著／實語教童子教證註／東都書林

五書堂合刻

〈内題〉・見返し…『實語教童子教證註』

・序…『實語教注』

・跋…『實語童子二教註』

・巻首…『實語教證注』『童子教證注』

・尾…『実語教』『童子教證注』

・小口下…『両教□□』

〈刊記〉

両國橋通吉川町　山田佐助

文化十三丙子年閏八月　神田かち丁二丁目北島長四郎

江戸書林　本石町十軒店　英平吉郎

糀町平川二丁目　角丸屋甚助

江戸橋通四日市　上総屋利兵衛

類字韻　るいじいん

写五巻五冊　室町期　特 27-239（帙。本体 27-237-1 ～ 5）

L63141 ～ 63145

○永禄六年（1563）写、袋綴、猩々緋色小葵紋（艶出）原表紙、楮紙、23.6 × 15.9 ㌢、無辺、無界、①五〇②四九③五四④五二⑤五四丁、一頁六行、漢・片、書入（朱）、校合（朱）、序跋なし、少汚損・少虫損、補修

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『類字韻　一』

〈内題〉・目録・巻首…『類字韻』

〈小口〉（上）天翁祥瑞（下）慈眼山長福寺

〈奥書〉前永平天長二世天翁正安大和尚（花押）

昭陽　五月端午時二午二始

永禄六年　初商晦日天翁瑞（花押）

大淵献　亦晦日午終

于時天正十年壬午四月十日置之

類字箋解　るいじせんかい　毛利瑚珀

刊八巻二二冊　江戸中期　27-240　L63021 ～ 63032

○元禄四年（1691）刊、袋綴、熨斗目花色無地原表紙、楮紙、22.4 × 16.4 ㌢、単辺、無界、①三四②三四③四二④五三⑤五四⑥三三⑦二五⑧二三⑨六一⑩一四⑪三九⑫二〇丁、一頁八行、漢・片、訓点付刻、絵図（墨印、蚌図・車螯図

等）、書入（墨）、序跋なし、少虫損、補修、各冊表紙に目録（朱）

〈印記〉頼、道、帝図、東図、〔東大〕、国語、「服部蔵書」

〈外題〉『類字箋解　壹』

〈内題〉・目録…『類字箋解』『新編類字箋解』

・巻首・尾…『新編類字箋解』

・小口下…『新編』

・柱…『類字箋解』

〈刊記〉元禄四辛未稔南呂吉旦

堀河通本國寺前町

小佐治半右衛門板

〈識語〉（①⑫一オ、墨）全部十二冊　晩器道人

新編類字箋解　しんぺんるいじせんかい　毛利瑚珀

刊八巻四冊　江戸中期　9-48　L66691～66694

○元禄四年（1691）刊、袋綴、利休白茶色無地原表紙、楮紙、21.0 × 13.9 ㌢、単辺、墨界、①一一一②一〇七③八二④一三四丁、一頁八行、漢・片、訓点付刻、絵図（墨印、車螯図・蟋蟀圖 等）、序跋なし、朱簽、少破損・少虫損、補修、各冊表紙に目録（墨）

〈印記〉頼、道、前、帝図、〔東大〕、国語、「重」、「中根藏書」、「教育博物館印（消印）」、他一種

〈外題〉『新編類字箋解　〔一／二ノ上〕』

〈内題〉・目録…『類字箋解』『新編類字箋解』

・巻首・①～③尾…『新編類字箋解』

・④尾・小口下・柱…『類字箋解』

〈刊記〉元禄四辛未稔南呂吉旦

堀河通本國寺前町

小佐治半右衛門板

類字引　るいじびき

写二巻二冊　江戸後期　27-241　L67301・67302

○江戸後期写、袋綴、砂色洲浜型（藍色・刷）原表紙、斐紙、18.5 × 13.4 ㌢、単辺、墨界、①五三〇②四一九丁、一頁九行、漢・訓、書入（墨）、序跋なし、②表紙少虫損

〈印記〉頼、道、前、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『類字引　壹』

〈内題〉・小口下…『類字引』

類集文字鈔　るいしゅうもじしょう

写一巻一冊（下巻のみ）　江戸後期　27-244　L63306

○弘化三年（1846）写、袋綴、猩々緋色窠文花菱紋（艶出）原表紙、楮紙、33.9 × 22.3 ㌢、無辺、無界、三三丁、一頁八行、漢・訓、書入（墨）、序跋なし

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語、「黒川光隆藏」、他一種

〈表紙〉（右・直・墨）春村寫本
（右下・直・墨）廿九
〈外題〉『類集文字鈔』
〈内題〉・扉…『類聚文字抄』
・目録・巻首・尾…『類集文字抄』
・柱…『文字抄』
〈奥書〉（薄朱）文明十八年鈔本類集文字鈔下巻一冊（墨附卅三張）以和學講談所本自寫畢
弘化三年丙午六月十日　藤原春村（花押）

類聚名義鈔　るいじゅみょうぎしょう

写一〇巻一〇冊　江戸後期　27-242-1・2
L62757～62761・63096～63100

○天保一四年（1843）写、袋綴、鳥の子地に蘇芳香色卍繋ぎ地に東六条藤散らし紋（刷、朱）原表紙、楮紙、27.2×19.0㌢、無辺、無界、①六七②七二③七一④三一⑤六三⑥七八⑦七四⑧七二⑨七一⑩九四丁、一頁八行、漢・片、書入（朱墨）、校合（褐藍）、文化一〇年（1813）伴信友序、文政三年（1820）伴信友跋、少汚損・少虫損、補修、巻一○末に仁治二年（1241）釈子慈念・建長三年（1251）沙弥顕慶奥書
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、東図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（①右・直・墨）春村校本
（①右下・直・墨）共十冊
〈外題〉『類聚名義鈔　一』
〈内題〉・扉・巻首…『類聚名義抄』
・序（一）…『新寫類聚名義抄』
・序（二）…『類聚名義抄蓮成院本雑部』
・目録…『類聚名義抄』『類聚名義鈔』
・小口下…『名義抄』
〈①序後〉（墨）春村曰此書の出現せし觀智院は比類なくめてたき寺也／家忠日記巻十九慶長十四年八月十八日東寺に制法之／印を賜ふとある第二條に觀智院は一宗之勧学院也／彼経蔵諸聖教無類本儀太功也不残一冊以目録令／写之納于高野山青巌寺之経蔵可立学者之用事／と見えたり
〈①本文前〉（褐）矢代弘賢翁所藏類聚名義抄缺巻巻首曰／此書全部十一冊者菅原是善卿〔相丞／之父〕作而家朝之古書也最大功應所持全／篇松之文蔚少年之写本予傳写之為因西念寺寶藏之常住物者／也
自脩〔谷脩字ナ巡／シタカフ　メクル　ツフサニ〕
至妓〔ナ妓魅字女／妓鬼也婦也〕五十四葉為一冊以下缺逸跋曰右十一冊之内七八／九十之四冊歓喜菴御老師高田家中某令書写之者也／右十一冊之内一二三四五六十一之七冊西念寺現住慧察

諸方之學友之乞受力／傳写之者也校合慧察止／
文政十二〔乙／亥〕年七月　伴信友批挍以頼墨
（藍）新寫三寶類字集叙／去今三十三年前文化十
年予陪故君侯在京之日得摹古本類聚名義／抄還
江戸後復得類本二種殘缺以挍本篇且記附言蔵之
然後予既致仕／息信近嗣信近天保十三年窮冬陪
今君侯上京十四年春始家眷従到京故／予復再在
京適得見或人所秘襲三寶類字集高山寺印識古本
殘缺一帖／〔百五／帋〕其本樣潤所摹与名義抄
全同而蠹壞亦自相同豈測乎是即類聚／抄附言所
論高山寺聖教目録載三寶類字集一部六冊之殘缺
本也予再来／京見其逸本可謂奇遇而已抑喜乞借
即欲摹写之信近愍其難堪以洗沐之／寸隙臨写漸
卒業於朱點予親之装□為二冊与名義抄相侳珎襲
焉他／日欲挍于本篇云尓／弘化二年十一月五日
再在于平安城下二條官宅書伴信友時齢七十又三
嘉永六年十二月下旬乞得伴信近秘蔵本比挍之蓋
自第一人篇／至第十九田篇以藍墨附異同者是也
春村

〈①奥書〉
（朱）一校早／天保十四年癸卯十一月中旬以伴信友對校了
（藍）嘉永七年四月上旬以高山寺三寶類字集比校了／
（朱）黒河春村
（墨）舊蔵十一巻本奥書（朱）第一巻
右十一冊之内七八九十之四冊歓喜菴御老師髙田家中某
令寫之者也／右十一冊之内一二三四五六十一之七冊西
念寺現住慧察諸方之學友／之乞受力傳寫之者也／校合
／慧察
（朱）同書十一巻奥書／類聚名義抄十一巻於京師一古寺
竊得見之強寫之有／故姑禁他見者也／文化七年　伴信
友／予固蔵十一巻本而有故賣于宮内省上件所記載者則
其奥書也／明治十一年五月　黒川真頼
〈②奥書〉（朱）天保十四年癸卯端午日以伴信友本對校了
黒河春村
（藍）自第一巻人篇部至當巻田篇部惣計十九篇／以高山
寺本三寶類字集缺本比挍了
〈③奥書〉（朱）一校早／天保十四年癸卯初秋十二日以伴信
友本對校了　黒河春村
〈④奥書〉（朱）天保十四年癸卯晩夏日以伴信友本對校了
黒河春村
〈⑤奥書〉（朱）一校早／天保十四年癸卯十一月上旬以伴信
友本對校了　黒河春村
〈⑥奥書〉（朱）一校了／天保十四年癸卯十一月下旬以伴信
友本對校了　黒河春村
〈⑦奥書〉（朱）一校早／天保十四年癸卯十月朔日以伴信友

本對校了　黒河春村
〈⑧奥書〉（朱）天保十四年癸卯十月念九日以伴信友本令比校了　黒河春村
〈⑨奥書〉（朱）一校早／天保十四年癸卯十一月下旬以伴信友本對校了　黒河春村
〈⑩奥書〉（巻一〇末、朱）天保十四年癸卯十二月中旬以伴信友本對校了　黒河春村
（巻尾、朱）天保十四年癸卯十二年（ママ）以伴信友本令摹寫了　黒河春村／終

簾中抄　れんちゅうしょう　藤原資隆

写三巻三冊　江戸後期　27-245　L62952 ～ 62954

○天保一三・一四年（1842・1843）写、袋綴、海老茶色菊花紋（艶出）原表紙、楮紙、26.6 × 18.7 チセン、無辺、無界、①一〇九②八③六〇丁、漢・平、書入（朱墨藍）、校合（朱墨藍褐緑）、序跋なし
〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、東図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（①右上・直・朱）春村校本
（①右下・直・朱）共三冊
（③右下・直・朱）五十六
〈外題〉『〔清芸維馨〕簾中抄〔塙本〕　一二〔薄齋叢書〕』
〈内題〉・目録…『簾中抄〈レムチウセウ〉〈「簾中」左訓）スタレウノウチ〉』
・巻首…『簾中鈔』
・小口下…（①②）『簾中抄』、（③）『古本簾中抄』
〈①巻首識語〉此書さきに竹屋殿本といふを写せりけるを／それははしめのかた闕てしあれは温故堂所蔵の／本もて此巻（一巻）をうつしそへて一部を／全備せさしめつるなりたゝし三四の巻々は／これの本もて校合し訂しつ／天保十四年三月／黒河春村
〈①巻二・二ウ識語〉右一之巻以古本令比校畢　椎本春村（花押）／天保十四年癸卯十月五日
〈①巻尾識語〉（褐）天保十四年十二月中旬以木村定良本加一校了（春村花押）／同年同月下旬以伴信友本更比校之
（緑）弘化二年四月下旬以故細井昌阿家藏本再三校合了
〈②巻首識語〉簾中抄は四巻なるを此竹屋殿本は一二なくて三四のみの／闕本なりされは其一二の巻は和学講談所の本を／こひ得てへちに二巻うつしとりつたゝし又講談所に／古本と称する一巻ありてそれは一の巻の缺本なれと／まされる異同もすくなからねはそれはたついてに写し／物しつ
天保十四年三月／藤原春村
〈②本奥書〉右拝借／竹屋前右兵衛佐殿（光棣卿）御本而雇他筆令書／写自加比校了／天保三年辰二月七日　正（花押）

天保十二年辛丑七月　高橋廣道写
〈②書写奥書・巻尾識語〉天保十三年寅七月以尾張人高橋廣道所藏本寫之（春村花押）
同十四年暮春日以和學講談所古鈔本比校之
（褐）同年十二月中旬以木村定良本再校了
（褐）同月下旬以伴信友本更比校了
（緑）弘化二年首夏下旬以故細井昌阿所藏古鈔本訂之
〈③本奥書〉右異字落字文段錯乱等／不可勝斗雖然以管見／書改之條遠慮因茲如正本／令書写之校合早
七月十五日〔宇佐太宮司〕到津主勝正／佐々助三郎殿
以宇佐宮社人岩根権衛門家藏写之／貞享二乙丑歳
〈③書写奥書・巻尾識語〉右古本簾中抄闕本一巻以和学講談所本書寫之以一本／令比校畢／天保十四年三月下旬
黒河春村

倭楷正訛　わかいせいか　太宰春台
写一巻一冊　江戸後期　27-335-6　L63320
○江戸後期写、袋綴、猩々緋色布目地原表紙、楮紙、22.5×15.6㌢、無辺、無界、一五丁、一頁九行、漢、序跋なし、少虫損、他一〇冊と合帙
〈印記〉道、帝図、〔東大〕、国語、「十文字文庫」、「循古堂」、他一種
〈表紙〉（右・直・墨）太宰純著
〈外題〉『倭楷正訛　完』
〈内題〉・序・巻首・尾…『倭楷正訛』
〈後見返し〉〔文政戊子／十一月八日〕求之
〈後表紙〉（右下・直・墨）循古堂藏

わかかつら　わかかつら　村田春海
写一巻一冊　江戸後期　27-246　L67312
○江戸後期写、袋綴、御召御納戸色無地原表紙、楮紙、23.1×16.7㌢、無辺、無界、六八丁、一頁一〇行、漢・片・平、書入（墨）、校合（朱）、序、寛政八年（1796）自跋、少虫損、二書合写（仮字拾要）
〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語、「布治波良乃毛等袁宇多岐尓乎佐牟留布美良乃之留思」
〈表紙〉（右・直・朱）小林歌城書入本
〈外題〉『（朱）若かつら／假字拾要』
〈内題〉・小口下…『ワカヽツラ』

わかかつら　わかかつら　村田春海
写一巻一冊　江戸後期　27-247　L63287
○江戸後期写、袋綴、藍鼠色無地原表紙、楮紙、26.7×18.8㌢、無辺、無界、四七丁、一頁一二行、漢・平・訓、校合（朱墨）、序なし、寛政八年（1796）跋、少破損・少虫損

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（右下・直・朱）卅六
〈外題〉『わかゝつら』
〈内題〉・小口下…『ワカヽツラ』

わかかつら　わかかつら　村田春海

写一巻一冊　江戸後期　27-248　L63316

○江戸後期写、袋綴、海老茶色未詳紋原表紙、楮紙、26.3×18.3㌢、無辺、無界、四四丁、一頁一二行、漢・平・訓、序なし、寛政八年（1796）跋、少虫損
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語
〈外題〉『わかかつら』
〈内題〉・小口下…『わかゝつら』

和漢訓蒙故事要言　わかんきんもうこじようげん

刊五巻五冊　江戸後期　27-250　L66538～66542

○江戸後期刊、袋綴、利休白茶色複廓剣太鼓紋（押型）原表紙、楮紙、22.5×15.6㌢、単辺、無界、①二〇②二〇③二〇④二〇⑤二〇丁、一頁九行、漢・片、序跋なし、少虫損
〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、〔東大〕、国語、他一種
〈外題〉『和漢訓蒙故事要言　一』
〈内題〉・巻首…『和漢訓蒙故事要言』
・小口下…『訓蒙故事』

和漢字名録　わかんじめいろく　藤井常枝

刊二巻二冊　江戸後期　27-251　L62950・62951

○天明六年（1786）刊、袋綴、縹色無地原表紙、楮紙、26.5×18.1㌢、単辺、無界、上五二・下四七丁、一頁一〇行、漢・平、訓点付刻、折指切字図、天明六年龍公美序、跋なし、少虫損、補修
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、東図、〔東大〕、国語
〈外題〉『和漢字名録　上』
〈見返し〉和漢字名録／〔藤井先生著／全四冊〕／此書は韻書に因て音訓は假名づかひを正し且和歌の／てには助字休字延がな促がな讀曲轉聲稱呼の／相通漢音呉音の別叶韻の評說假名反切は諸／例を載せ附錄ニ韻鏡諸鈔の是非を論ず／京師書屋　景雲堂發行
〈内題〉・見返し・序・目録・凡例・巻首・尾・柱…『和漢字名録』
・小口下…『字名録』
〈刊記〉天明六丙午歳孟春
江戸　須原茂兵衛
大坂　大野木市兵衛
出雲寺文治郎

林　權兵衛
京都　勝村治右衛門
同　善兵衛
山本平左衛門

和漢通用集　わかんつうようしゅう

写八巻八冊　江戸初期　特 27-284-1 ～ 8　L62688 ～ 62695

○江戸初期写、袋綴、かちん色無地原表紙、楮紙、28.3 × 20.4 ㌢、単辺、無界、①四五②三九③三二④二四⑤三四⑥五一⑦二五⑧三五丁、一頁八行、漢・平・訓、序跋なし、少虫損、補修、箱裏書（大正五年黒川真道識、中田祝夫・根上剛士編『印度本節用集和漢通用集他三種研究並びに総合索引』（勉誠社、一九八〇～一九八二年）参照）

〈印記〉頼、道、前、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『和漢通用集』

〈内題〉・巻首…『和漢通用集』

倭漢武家名数　わかんぶけめいすう　神田白竜子

刊五巻一冊　江戸中期　27-325　L66688

○正徳六年（1716）刊、袋綴、藍色無地原表紙、楮紙、21.9 × 15.3 ㌢、単辺、無界、一一六丁、一頁一〇行、漢、訓点付刻、書入（朱）、正徳六年自序、跋なし、少破損、補修、広告（白龍先生輯録書）、他二冊と合帙

〈印記〉道、前、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉（右・直・朱）正徳六年版

〈外題〉『和漢武家名数　全』

〈見返し〉龍子先生編輯／〔和／漢〕武家名数／皇都書肆　川勝氏

〈内題〉・見返し…『〔和／漢〕武家名数』

・序…『武家名数』

・目録・①⑤巻首…『倭漢武家名数』

・②～④巻首・尾・柱…『和漢武家名数』

〈刊記〉正徳六丙申歳七月吉辰

京五条橋通高倉西エ入町　川勝五郎右衛門

彫刻　江戸日本橋通壹町目　舛屋五郎右衛門

和漢武用類編　わかんぶようるいへん

刊三巻一冊　江戸初中期　27-252　L63253

○江戸初中期刊、袋綴、白茶色無地原表紙、楮紙、19.5 × 13.8 ㌢、単辺、墨界、七八丁、一頁六行、漢・片・平、訓点付刻、絵図（墨印、弓図・矢図 等）、書入（墨）、序なし、延宝九年（1681）思斉永三跋、少虫損

〈印記〉〔頼〕、道、東図、〔東大〕、国語

〈表紙〉（左下・直・墨）合二冊／二千六百二十二條余

〈外題〉『和漢武用類編』
〈見返し〉〔武家／節用〕和漢武用類編／書林　中川文林堂
〈内題〉・見返し…『〔武家／節用〕和漢武用類編』
・巻首…『武家節用集』
・小口下…『武用類編』
・柱…『武節用集』
〈刊記〉京姉小路堀川東江入町
中川茂兵衛
藏板
江戸本町三町目
西村市良右衛門

和漢名数　わかんめいすう　貝原益軒
刊一巻二冊　江戸中期　27-253　L62850・62851
○元禄五年（1692）刊、袋綴、藍色無地原表紙、楮紙、21.8 × 15.8 ㌢、単辺、無界、上二七・下五六丁、一頁九行、漢、訓点付刻、元禄二年（1689）自序、跋なし、綴紐補修
〈印記〉道、前、帝図、東図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（右・直・朱）貝原益軒著　共二冊
〈外題〉『和漢名數　上』
〈内題〉・序・目録・巻首（上）・尾…『和漢名數』
・柱…『倭漢名數』
〈刊記〉元禄五季壬申初冬吉辰
洛陽書堂　長尾氏梓行

和漢名数　わかんめいすう　上田元周
刊一巻一冊　江戸中期　27-253　L66634
○宝暦二年（1752）刊、袋綴、湊鼠色無地原表紙、楮紙、10.9 × 7.9 ㌢、単辺、無界、一二〇丁、一頁八行、漢、訓点付刻、図（太虚図・三辰図 等）、書入（朱）、自序か、跋なし、少虫損、他三冊と合帙
〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語、他二種
〈外題〉『和漢名數』
〈内題〉・序・目録…『和漢名數』
・巻首…『和漢名數大全』
・背…『和漢名數』
・小口下…『和漢名数』
・柱…『和漢』
〈刊記〉元禄八年正月吉辰彫刻
寶暦二壬申孟春吉日再刻
平安書舗　中野宗左衛門
兒玉勘十郎

〔新編〕増補和漢名数　ぞうほわかんめいすう　貝原益軒
刊一巻二冊　江戸中期　27-254　L63202・63203

○明和二年（1765）刊、袋綴、藍鼠色蜀江錦地（艶出）原表紙、楮紙、22.4 × 15.7 ㌢、単辺、無界、上三一・下五八丁、一頁九行、漢、訓点付刻、図（日本帝王世系図 等）、元禄二年（1689）自序、跋なし、少虫損

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、東図、〔東大〕、国語

〈外題〉『〔新／編〕増補和漢名數 〔上／再板〕』

〈内題〉・序・目録・巻首・尾…『和漢名數』

・小口下…『メイスウ』

・柱…『倭漢名數』

〈刊記〉元禄五季壬申初冬吉辰
明和二年乙酉猛春吉辰再刻
平安書肆 版行
京師三條通升屋町
御書物所
出雲寺和泉掾

和漢名数大全続編 わかんめいすうたいぜんぞくへん

刊一巻一冊 江戸後期 27-353 L66635

○弘化四年（1847）刊、袋綴、紅緋色卍繋ぎ地（押型）原表紙、楮紙、11.1 × 7.8 ㌢、単辺、無界、一二一丁、一頁八行、漢、訓点付刻、図（墨印、禁中之畧図 等）、書入（朱）、弘化四年嘉平月序、跋なし、他三冊と合帙、表紙に目録（簽）

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語、他二種

〈外題〉『圖解和漢名數大全 完』

〈内題〉・目録…『和漢名數續編』

・巻首…『和漢名數大全續編』

・尾…『和漢名數大全續篇』

・背…『続和漢名數』

・小口下・柱…『續名數』

〈刊記〉

京都三條通リ
出雲寺文次郎

弘化四年
丁未
十二月吉旦

大坂心齋橋通安国寺町
秋田屋太右エ門

同北久太郎町
河内屋喜兵衛

江戸芝神明前
和泉屋吉兵衛梓

和訓解 わくんかい 水野清衷

刊一巻一冊 明治期 27-255 L63286

○明治二九年（1896）刊、袋綴、舛花色菊唐草繋ぎ地（押型）原表紙、楮紙、23.8 × 16.0 ㌢、双辺、墨界、一五三丁、一頁九行、漢、訓点付刻、活用圖、明治二九年南摩綱紀序

・同年自序、跋なし

〈印記〉道、帝図、〔東大〕、国語、「石川文庫」

〈外題〉『和訓解 完』

〈見返し〉第五高等學校非職教授従六位秋月胤永君題辭／高等師範學校教授正六位南摩綱紀君序文／水野清衷先生著／和訓解　完／岩代若松　丸屋活版所藏版

〈内題〉・見返し・序・尾・小口下・柱…『和訓解』

〈刊記〉明治二十九年六月廿五日印刷　定價金八拾錢
仝　年七月十七日御届

著作者　福島縣士族　水野清衷　福島縣北會津郡若松町大字榮町二百三拾番地

發行兼　福島縣平民　佐藤八四郎　福島縣北會津郡若松町大字馬場上一ノ町拾八番地

印刷者　仝縣仝郡仝町仝番地

發行所　丸屋活版所　仝縣仝郡仝町仝番地

和訓部類　わくんぶるい

↓ **新撰和訓部類**　しんせんわくんぶるい

和訓部類抄　わくんぶるいしょう

刊三巻三冊　江戸後期　27-256　L67476 ～ 67478

○寛政一〇年（1798）刊、袋綴、錆浅葱色布目地原表紙、楮紙、15.7 × 10.8 ㌢、単辺、無界、上七五・中七七・下七一丁、一頁六行、漢、訓点付刻、寛政一〇年源近留序、跋なし、少虫損、補修

〈印記〉〔賴〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『和訓部類抄』

〈内題〉・目録・巻首…『和訓部類抄』
・小口下…『和訓部類』
・柱…『和語』

〈刊記〉天和二壬戌年原板
寛政十戊午年改正
大坂書林　葛城宣英堂　奈良屋長兵衞

和玉篇（玉篇巻）　わごくへん

写三巻一冊　室町期　特 26-64　L62774

○室町期写、袋綴、錆鉄御納戸色無地原表紙、楮紙、24.2 × 16.6 ㌢、単辺、無界、一七八丁、一頁八行、漢・片、書入（墨）、序なし、跋、少破損・少虫損・少水損、各巻目録部に焼跡

〈印記〉賴、〔賴〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉（右・簽・墨）伊勢家本古寫本

〈外題〉『玉篇巻』

〈内題〉・扉…『和玉篇』
・目録・尾…『玉篇』
〈巻尾〉元文四未四月十日
佐埜住
岩澤清兵衛

倭玉篇　わごくへん
刊三巻三冊　江戸初期　27-257　L62776 ～ 62778
○慶長一八年年（1613）刊、古活字版、袋綴、鳶色無地原表紙、楮紙、27.4 × 20.2 ㌢、双辺、墨界、上八六・中八三・下七四丁、一頁七行、漢・片、序跋なし、少破損・少汚損・少虫損・少水損、落書（表紙）
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、墨滅印
〈表紙〉（右上・直・朱）慶長一八年板
（右下・直・朱）共三冊
〈外題〉『倭玉篇　上』
〈見返し〉（上巻、簽・朱）真頼按日本書籍目録〔字／類〕云假字五篇／三巻恐此書
〈内題〉・目録・巻首・尾・柱…『倭玉篇』
・小口下…『字引』
〈刊記〉慶長癸丑仲冬　日　開板之

慶長板和玉篇　わごくへん
刊三巻三冊　江戸初期　27-258　L62779 ～ 62781
○慶長一五年（1610）刊、袋綴、瓶覗色布目地原表紙、楮紙、28.1 × 19.9 ㌢、双辺、墨界、上八六・中八三・下七四丁、一頁七行、漢・片、序跋なし、少汚損・少虫損・少水損、補修
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（上冊、右・直・墨）慶長十五年板
（上冊、右下・直・墨）卅四
〈外題〉『慶長板倭玉篇　上』
〈内題〉・目録・巻首・尾…『倭玉篇』
・小口下・柱…『和玉篇』
〈刊記〉慶長庚戌仲春日

小篆増字和玉篇　しょうてんぞうじわごくへん
刊三巻一冊　江戸中期　27-297　L63294
○江戸中期刊、袋綴、藍鼠色無地原表紙、楮紙、26.2 × 18.8 ㌢、単辺、墨界、八八丁、一頁一〇行、漢・片、訓点付刻、書入（墨）、序跋なし、少汚損・少虫損・少水損、他一冊と合帙
〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語
〈外題〉『小篆増字和玉篇』
〈見返し〉校筆畫篇旁／訂魯魚焉馬／〔篆楷二體〕廣益和

玉篇／攝城　書林萬巻楼新刊

〈内題〉・見返し…『〔篆楷二體〕廣益和玉篇』
・目録…『小篆增字和玉篇綱目〈セウテンゾウジワゴクヘンカウモク〉』
・巻首・尾…『小篆增字和玉篇綱目』
・小口下…『和玉篇』
・柱…『和玉篇綱目』
〈巻尾〉（墨）明治參季庚午荣月十八日求之
髙木姓

新刊和玉篇　わごくへん

刊三巻一冊　江戸初期　27-297　L63295

○寛永一六年（1639）刊、袋綴、藍色工字崩し丸紋散らし地（艶出）原表紙、楮紙、26.6 × 18.0 ㌢、双辺、墨界、一二四丁、一頁九行、漢・片、訓点付刻、序跋なし、少虫損・少水損、補修、他一冊と合帙
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（右・直・朱）寛永十六年版
〈外題〉『新刊和玉篇〔上中下〕』
〈内題〉・目録…『新刊倭玉篇』
・巻首・尾・小口下…『倭玉篇』
・柱…『和王』
〈刊記〉寛永十六歳己卯
仲秋吉旦

和国方言録　わこくほうげんろく　船山忠教

写二巻二冊　江戸後期　27-259　L63033・63034

○江戸後期写、袋綴、錆浅葱色布目地原表紙、楮紙、25.1 × 17.5 ㌢、無辺、無界、乾八〇・坤一〇三丁、一頁九行、漢・片・平、序跋なし、少虫損・少水損、補修
〈印記〉頼、道、帝図、東図、〔東大〕、国語、「伊東藏書」
〈外題〉『和國方言録　乾』
〈内題〉・凡例…『倭國方言録』
・小口下…『方言録』

和語対類　わごたいるい　一翠子道達

刊五巻五冊　江戸中期　27-260　L66444 ～ 66448

○天和二年（1682）刊、袋綴、①②④⑤藍色未詳紋原表紙・③鳥の子地に雲母引き後補表紙、楮紙、15.8 × 10.7 ㌢、単辺、無界、①五八②六一③六七④六二⑤四五丁、一頁六行、漢・片、訓点付刻、天和二年恭斎生栢序、同年自跋、少破損・少水損、補修、もと眠窩集の付録か
〈印記〉頼、道、前、帝図、東図、〔東大〕、国語、「掃葉山房藏書」、他一種
〈外題〉『和語對類　一』
〈内題〉・序…『倭語對類』

・跋・凡例・尾…『眠寤集和語對類』
・⑤巻首…『和語對類續集』
・小口下…『眠寤』
・柱…『和語』
〈刊記〉天和貳壬戌年孟冬仲旬
亀屋半左衛門
永原屋孫兵衛　板行

〔新嗣〕和爾雅　わじが　貝原好古

刊八巻五冊　江戸中期　27-261　L63206～63210

○元禄七年（1694）刊、袋綴、錆浅葱色無地原表紙、楮紙、22.6×15.8㌢、単辺、無界、①一〇〇②五一③五九④六〇⑤六二、一頁八行、漢・片・平、訓点符刻、書入（朱墨）、元禄二年（1689）竹洞野宜卿序・同七年貝原篤信序、元禄元年（1688）西峯散人跋、少虫損、補修、広告（柳枝軒藏書目録）
〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、東図、〔東大〕、国語、「石川圖書記」、「徳惟善政」、他三種
〈表紙〉（①右・直・朱）貝原好古著
〈外題〉『〔新／剏〕鼇爾雅〔巻之一〕』
〈見返し〉字苑棟金傻郷童／〔新／刊〕倭爾雅／巻間闕疑　竣垚雄
〈内題〉・見返し…『新刊倭爾雅』
・序…『和−爾−雅』
・目録・凡例・巻首・尾・柱…『和爾雅』
・小口下…『和』
〈刊記〉元禄甲戌歳秋季日
上島瀬　平
長尾平　兵衛
書林　水谷小　兵衛　仝梓
大井七郎兵衛

和字解　わじかい　貝原益軒

刊一巻一冊　江戸中後期　27-340　L66663

○江戸中後期刊、袋綴、伽羅色菊散らし地（艶出）原表紙、楮紙、13.6×19.0㌢、単辺、無界、三五丁、一頁一〇行、漢・平、訓点付刻、元禄一二年（1699）貝原篤信序、跋なし、少虫損・少水損、広告（貝原先生編輯日新堂藏版目錄）、他四冊と合帙
〈印記〉道、帝図、〔東大〕、国語、「斎藤蔵書」
〈表紙〉（右・直・朱）貝原益軒著
〈外題〉『和字解　全』
〈内題〉・序…『和字解』
・巻首…『和−字−解（カイ）』
・柱…『和字』
〈広告末尾〉大坂　村上　清　三　郎

京都　同　治　兵　衛
江戸　升屋　五郎右衛門

和字解　わじかい　貝原益軒

写一巻一冊　江戸後期　27-340　L67313

○文化一三年（1816）写、袋綴、薄柿色鳥の子地に斑紋原表紙、楮紙、13.7 × 19.4 ㌢、無辺、無界、五〇丁、一頁八行、漢・平・訓、元禄一二年（1699）自序、跋なし、少虫損・少水損、他四冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉（右・直・墨）貝原篤信著

〈外題〉『和字解』

〈内題〉・序・巻首・尾…『和字解』

・小口下…『カナツカイ』

〈奥書〉文化十三丙子三月日

小泉於草堂写之

猪田逢原書

和字正濫鈔　わじしょうらんしょう　契沖

刊五巻五冊　江戸中期　27-262　L63061 ～ 63065

○元文四年（1739）刊、袋綴、群青色横縞に若松紋（押型）原表紙、楮紙、22.6 × 15.7 ㌢、単辺、無界、①三五②四一③四一④五六⑤四八丁、一頁八行、漢・平、訓点付刻、五十音図、書入（朱褐）、元禄六年（1693）自序、跋なし、少虫損・少水損

〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、東図、〔東大〕、国語

〈外題〉『和字正濫鈔　一』

〈内題〉・序・巻首・尾・柱…『和字正濫鈔』

・③④小口上・小口下…『和字濫鈔』

〈刊記〉元文四巳未歳正月吉旦　求版

大坂心齋橋筋順慶町柏原屋

書　林　澁川　清右衛門

同　　皖　　市

和字正濫要略　わじしょうらんようりゃく　契沖

写一巻一冊　江戸中期　27-263　L63300

○江戸中期写、袋綴、青鈍色無地原表紙、楮紙、27.3 × 19.5 ㌢、無辺、無界、六九丁、一頁一〇行、漢・平・訓、書入（朱墨）、校合（朱）、序跋なし、少虫損

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語

〈表紙〉（右・直・朱）校本

〈外題〉『和字正濫要畧』

〈内題〉・序・巻首…『和字正濫要略』

・小口下…『和字正濫要畧』

〈巻尾識語〉（墨）元禄十一戊寅五月初八日　契沖述作

寶永四年五月上旬一校畢

（朱）一本浪華釋契仲著卜而已年不記
（墨）于時寶永己丑正月於六波羅密寺邉一校畢
洛東隠士　似閑

和字正濫要略　わじしょうらんようりゃく　契沖

写一巻一冊　江戸後期　27-329　L67439

○江戸後期写、袋綴、白茶色横渋刷毛引原表紙、楮紙、27.5 × 18.9 ㌢、無辺、無界、七四丁、一頁一〇行、漢・平・訓、書入（墨）、校合（朱墨）、自序、跋なし、他六冊と合帙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（右・直・墨）〔在満／俊明／濵臣〕説書入（右下・直・朱）卅六
〈外題〉『和字正濫要略　全』
〈内題〉・序・巻首…『和字正濫要畧』
・小口下…『和字正濫要略』
〈巻尾〉元禄十一戊寅五月初八日　契沖述作
寛永四年五月上旬一校畢
此書は密乗沙門契沖所述作也徃昔著和字正濫抄五巻いはゆる古書を引證して哥道の便とすしかるに武江の住（八次郎）橘成員といへる人和字通例書八巻をあらはして新古の假名をましへ正濫を誹謗せる事甚たしさるによりて師古書により書へき旨を此書に具にのへ給ひ正濫にも添書し給へりきすへて古人のさためおきける假名をたかへてみたりに俗にしたかふへからさる事此書の中に見えたるかことし
于時寶永己丑正月　於六波羅密寺
邊一校畢
洛東隠士似閑
寶暦乙亥冬十一月冬至日
校合畢
田上藤原朝臣光豊

和字大觀鈔　わじたいかんしょう　文雄

刊二巻二冊　江戸中期　27-264　L67431・67432

○明和四年（1767）刊、袋綴、舛花色布目地原表紙、楮紙、22.2 × 15.9 ㌢、単辺、無界、上四五・下四一丁、一頁一〇行、漢・片・平、日本音韻開合仮字反図、宝暦三年（1753）菅原為範序・宝暦四年（1754）龍乃公美序、原助跋、補修

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、他一種
〈外題〉『〔再／治〕和字大觀鈔　上』
〈内題〉・序…『大觀鈔』
・跋・目録・巻首・尾・柱…『和字大觀鈔』

・小口下…『大觀抄』

〈刊記〉明和四年丁亥十一月

京師　靏屋𠮷右衛門
　　正本屋九兵衛
二葉軒　八文字屋八左衛門
書林　菱屋治兵衛
　　菊屋七郎兵衛

〔改正増補〕和字便覧　わじべんらん　混沌斎松月

刊一巻一帖　江戸後期　27-344　L（なし）

○天保二年（1831）刊、袋綴、利休白茶色無地原表紙、楮紙、17.6 × 7.7 ㌢、単辺、無界、一一折、一頁七行、漢・片、序なし、藤原昌敷跋、他一〇冊と合帙、内題なし

〈印記〉頼、〔頼〕、道

〈外題〉『〔改正／増補〕和字便覧　全』

〈刊記〉文化八辛未六月再刻

天保二辛卯九月補刻

心齋橋筋博勞町
大坂書肆　河内屋茂兵衛
仝　久宝寺町
河内屋源七郎

和読要領　わどくようりょう　太宰春台

刊三巻三冊　江戸中期　27-265　L66545 ～ 66547

○享保一三年（1728）刊、袋綴、赤白橡色無地原表紙、楮紙、22.5 × 15.6 ㌢、双辺、無界、上五八・中五〇・下三丁、一頁九行、漢・片、享保一三年自序、跋なし

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、他一種

〈表紙〉（上巻、右・直・墨）太宰純著

〈外題〉『和讀要領　（墨）上』

〈見返し〉春臺先生撰／和讀要領〔翻刻／必究〕／江都書肆　嵩山房藏版

〈内題〉・見返し・柱…『和讀要領』

・序・目録・巻首・尾…『倭讀要領』

・小口下…『和読要領』

〈刊記〉享保十三戊甲正月日

江都書肆　須原屋　新兵衛梓

和名抄　わみょうしょう　源順

刊二〇巻一〇冊　江戸初期　27-268　L62712 ～ 62721

○寛文七年（1667）刊、袋綴、藍鼠色金箔散らし地に菊唐草紋（押型）原表紙、楮紙、26.1 × 18.4 ㌢、双辺、無界、①六〇②四〇③六一④四二⑤四〇⑥四〇⑦三四⑧三三⑨四二⑩五六丁、一頁一〇行、漢、訓点付刻、書入（朱墨褐）、校合（褐）、自序・元和三年（1617）林羅山序、跋なし、補修、朱簽、貼紙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、「川澂氏図書記」、「観瀾」

〈表紙〉（右・直・墨）大野廣城校本（朱）手澤本

〈外題〉『和名抄〔一／二〕』

〈内題〉・序…『倭名類聚鈔』『倭名鈔』
・凡例…『新刻倭名類聚鈔』
・巻首・尾…『倭名類聚鈔』
・①巻首…『倭名類聚鈔』
・小口下…『和名抄』
・柱…『和名』

〈刊記〉寛文丁未歳仲秋日村上勘兵衛刊行

〈識語〉（①巻尾、朱）寛政十戊午十一月三日於貴布称宿覜硯水再校終／甲斐権守加茂季鷹
寛政十二年庚申二月廿五日夜寫畢／興田　吉従
享和三癸亥年十二月十一日於若狭小濵族寓朱校寫了元本中至訓字異任意用／捨之文化二丑年八月於仝所以三本校文化三丙(ママ)寅八月廿日以鈴屋翁校本校之之了／立入　信（花押）
文政十丁亥年十一月清水濵臣考正并古本畧本ヲ以校正了／南雲　廣城
（③巻尾、朱）寛政三年十二月於貴布称以今井自閑校本　再校　甲斐権守季鷹

和名抄考証　わみょうしょうこうしょう　狩谷棭斎

写一〇巻一〇冊（内四冊欠）江戸後期　27-269　L（なし）

○江戸後期写、袋綴、丁字茶色無地原表紙、楮紙、27.4 × 19.0 ㌢、単辺、無界、②一二一④一二一⑤一一六⑥九三⑦九七⑨九八丁、一頁一〇行、漢、校合（墨）、序跋なし、切紙、少虫損

〈印記〉頼、道

〈表紙〉（②右下・簽・墨）共六冊

〈外題〉『和名抄考證　二』

〈内題〉・巻首・尾…『和名類聚鈔』
・柱…『（刷）倭名類聚抄』

〈巻尾〉天保八年五月廿三日与棭齋先生手書原本校／讎句逗一遍了

和名抄考証　わみょうしょうこうしょう　狩谷棭斎

写一〇巻二〇冊　江戸後期　27-270-1 ～ 4　L62862 ～ 62881

○江戸後期写、袋綴、黄檗色卍繋ぎ地原表紙、斐紙（一部楮紙）、26.4 × 19.5 ㌢、無辺、無界、①八九②五〇③五七④六二⑤六五⑥三一⑦七〇⑧四九⑨六〇⑩五八⑪五〇⑫四二⑬四七⑭五一⑮六五⑯五六⑰五〇⑱四六⑲六五⑳六三丁、一頁一〇行、漢、親族名系図、書入（朱墨褐）、校合（褐）、文政一〇年（1827）自序、跋なし、少汚損・少虫損、補修、

各冊表紙に目録（墨）
〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、東図、〔東大〕、国語
〈外題〉『和名抄考證　一之上』
〈内題〉・目録・巻首・尾…『和名類聚鈔』

和名抄釈義　わみょうしょうしゃくぎ　伝契沖
写二〇巻四冊　江戸後期　27-271　L63227～63230
○江戸後期写、袋綴、猩々緋色卍繋ぎ地（艶出）原表紙、楮紙、27.2 × 19.6 ㌢、無辺、無界、①二六②三二③三一④四〇丁、一頁一〇行、漢・訓、書入（墨）、序跋なし、少水損
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、「待賈堂」
〈表紙〉（①右・直・墨）契沖著
（①右下・直・墨）共四冊
〈外題〉『和名抄釋義　春』
〈内題〉・巻首…『和名類聚抄釋義』
・①③④尾…『和名抄釋義』
・小口下…『和名抄尺義』
〈巻尾〉髙津阿闍梨契仲著／安西舟雪武臣校本
〈奥書〉和名抄釋義二十巻余久所
蔵臨別写本以附
那須資禮老大人坐上聊備
随(?)影　化鯨悟海（花押）

和名類聚抄　わみょうるいじゅしょう
↓　**和名抄**　わみょうしょう

和名類聚抄　わみょうるいじゅしょう　源順
写四巻（巻七～一〇）一冊　江戸後期　特 27-266　L63320
○江戸後期写、袋綴、丁字茶色無地原表紙、楮紙、29.6 × 20.5 ㌢、無辺、無界、八〇丁、一頁一〇行、漢・訓、書入（朱）、校合（朱）、序跋なし、補修
〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語、「小島氏図書記」
〈表紙〉（右・直・墨）京本（朱）異本
〈外題〉『和名類聚抄〔七之十〕』
〈内題〉・巻首・尾…『和名類聚抄』
〈巻尾〉此書者狩谷棭齋作和名類聚鈔校正本之時所引用／之搢紳某公所藏京本是也可謂希世之珎矣唯憾缺／上中兩巻他日若獲所缺者幸甚　黒川真頼
〈備考〉特 27-272 と併せて、東京大学国語研究室資料叢書一三『倭名類聚抄京本・世俗字類抄二巻本』汲古書院、一九八五年）に影印解説収録。

和名類聚抄（京本）　わみょうるいじゅしょう　源順
写三巻（巻四～六）一冊　江戸初期　特 27-272　L63274
○江戸初期写、袋綴、媚茶色無地原表紙、楮紙、27.9 ×

21.2 ㌢、無辺、無界、六八丁、一頁一〇行、漢・訓、序跋なし、補修、切紙

〈印記〉道、帝図、〔東大〕、国語、「吉田神社社司中臣隆啓朝臣之章」、他一種

〈表紙〉（右・直・墨）京本（朱）巻四、五、六（右下・直・朱）零本

〈外題〉『和名類聚抄 中』

〈内題〉・巻首・尾…『和名類聚抄』

・柱…『和名抄』

※巻尾識語については影印本（東京大学国語研究室資料叢書一三『倭名類聚抄京本・世俗字類抄二巻本』汲古書院、一九八五年）参照。

和名類聚抄 わみょうるいじゅしょう 源順

刊一巻一冊 江戸後期 27-273 L63264

○享和元年（1801）刊、袋綴、白茶色横刷毛目原表紙、楮紙、26.7 × 19.3 ㌢、単辺、無界、四〇丁、一頁八行、漢、序なし、寛政一三年（1801）稲葉通邦跋、少虫損

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、「吉田文庫」、「浅艸蕃」

〈表紙〉（右・直・朱）大須本

〈外題〉『和名類聚抄』

〈内題〉・凡例…『尾州大須室生院藏倭名抄残篇』

・巻首…『和名類聚抄』

・小口下…『和名抄大須本』

・柱…『倭名抄』

〈刊記〉享和紀元辛酉歳暮春開彫

京都 錢屋惣四郎

大坂 柏原屋清右衛門

江戸 須原屋市兵衛

發兌書肆

尾張名古屋玉屋町 永樂屋東四郎

倭名類聚抄 わみょうるいじゅしょう 源順

写一〇巻三冊 江戸後期 特 27-274-1 ～ 3 L62722 ～ 62724

○文政四年（1821）写、袋綴、丁字引き原表紙、楮紙、26.5 × 19.4 ㌢、無辺、無界、上七六・中六七・下七九丁、一頁一〇行、漢、書入（朱褐藍）、校合（朱褐藍）、自序、跋なし、少虫損、貼紙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、東図、〔東大〕、国語、他三種

〈表紙〉（上冊、右・直・朱）京本一本〔（墨）山川真清校本〔大石千引舊藏〕〕

〈外題〉『倭名類聚抄　一』
〈内題〉・序…『倭名類聚抄』
・巻首・尾…『和名類聚抄』
・柱…『倭名抄一　棭齋校本』
〈序尾〉（朱）町田氏ノ蔵スル所ノ京本和名鈔三巻アリ全ク此ノ本ト同ジ而シテ序文ニ訓点片假名ヲ施セリ又本書／陽烏ノ傍ニヤタカラス弦月ノ傍ニユミハリ望月ノ傍ニモチツキ斯ノ如ク片假名ヲ施セリ是此ノ本トタガヘリ／其ノ外ハタガフ所無シ按スルニ狩谷望之ノ和名鈔考證ヲツクルニ搢紳某公ノ所蔵ノ本ヲ以テ藍本ト為／ストイヘリシ本蓋此ノ本欤
黒川真頼識
〈巻尾〉
（上冊）（墨）右一冊借吉田鈴鹿河内守藏本令傭書生影寫手自一挍／文政四年七月　狩谷望之識于京師客舎
（褐）天文丙午本快賢僧奥書本一挍了〔雖多不審不能再挍〕／嘉永七年十月十五日　山川正份〔在于／作邸〕
（藍）安政三歳五月十五日　一挍了　横山由清
（中冊）（褐）嘉永七年十月十六日以天文丙午本新写一挍了
依无類本不能再挍／山川正份〔在于／作邸〕
（下冊）（褐）岩寛保癸亥夏五月中弦於皇都書肆求得之／皇
鯀桑門東垂総陽香取郡／鏑木邨法印快賢伴題
（墨）以上二冊借福井丹波守藏本影鈔手自讎對／是本舊難波宗建卿所藏今分在二家／文政辛巳七月狩谷望之識于京師客館
（褐）仝　七年十月天文丙午本再挍了／〔従十五日始／至十八日終〕
（朱）山川真清／嘉永三年得此本四年九月与廣本一挍了
（褐）仝　七年五月下総本一挍了

倭名類聚鈔　わみょうるいじゅしょう　源順
写一〇巻一〇冊　江戸後期　27-275　L63241 ～ 63250
○江戸後期写、袋綴、錆浅葱色卍繋ぎ地（押型）原表紙、楮紙、27.1 × 19.1 ㌢、無辺、無界、①四一②四八③四六④四二⑤三二⑥四〇⑦三二⑧三四⑨四一⑩五二丁、一頁九行、漢・訓、校合（朱）、自序、跋なし、少汚損・少虫損、②～⑩見返しに目録（簽）、付箋
〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、〔東大〕、国語、「孳々斎文庫記」
〈表紙〉（①右・直・墨）伊勢本
（第二冊、簽左・朱）十巻本也世称略本　一二闕
（第三冊、簽左・朱）十巻本也世称略本
（第四冊、簽左・朱）十巻本也世称略本　九十闕
〈外題〉『倭名類聚鈔　一』

〈見返し〉（①直・朱）伊勢國渡會郡山田　中西清大夫藏
〈内題〉・序・巻首（巻一）・尾（巻二〇）…『倭名類聚抄』
・巻首（巻二～二〇）・尾（巻一～九、一一～一九）…『和名類聚抄』
・小口下…『和名鈔』
〈④尾〉（墨）・〈④見返し〉（簽・墨）
自公意僧正御房傳領／三井沙門任契
〈⑩尾〉（墨）中西清大夫家所藏倭名類聚鈔古本十冊先祖信慶／翁之遺物也第八巻奥書自公意僧正御房傳領三／井沙門任契之十五字有之江戸狩谷棭齋注倭名鈔／之間所比校之古本數部也此古本亦備一本了其説／曰倭名鈔廿巻本十巻本二種有之以十巻本稱略／本（頭注「此古本原廿巻本而／第三第四第五／第六第七第八／為闕本」）之間以十巻本補之歟世間希有之物也可珍藏云々／就此説更加撿閲之處第一第二第九第十第十一／第十二第十三第十四第十五第十六第十七第十八第／十九第廿合七冊者廿巻本也而第三第四第五第六第／七第八之六冊闕本也第三第四第五第六第七第八／合三冊者十巻本也而第一第二第九第九第十／闕本也故居所舩車寶貨燈火布帛装束調度／器皿飲食羽族毛群魚亀貝蟲豸等之條有／重複今年借覽之序収此本料之筥一合裹此／本料之帊一枚以右二種贈中西氏中西氏者與／予家以有舊好聊表寸志也／天保五甲午年十一月　従四位上度會弘訓／通稱足代權大夫／代筆久我周謙亘之
（朱）右倭名鈔裹帊裏書

和名類聚抄　わみょうるいじゅしょう　源順

刊二〇巻五冊　江戸初期　27-277　L62992 ～ 62996

○寛文七年（1667）刊、袋綴、白茶地に丁子茶色格子刷毛目原表紙、楮紙、26.7 × 19.1 ㌢、双辺、無界、①八四②九七③七九④六九⑤九五丁、一頁一〇行、漢、訓点付刻、書入（朱墨）、校合、自序・元和三年（1617）林羅山序、跋なし、少虫損、補修、貼紙

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、東図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（①右・直・墨）清水濵臣校本
（①右・直・朱）春村書入本
〈外題〉『和名類聚抄　一』
〈内題〉・序…『倭名類聚鈔』『倭名鈔』
・凡例…『新刻倭名類聚鈔』
・①巻首…『倭名類聚鈔』
・②～⑤巻首・尾…『倭名類聚鈔』
・小口下…『和名抄』
・柱…『和名』
〈刊記〉寛文七丁未歳仲秋日

大坂心齋橋順慶町柏原屋
書林　澁川清右衛門　版
〈巻尾書入〉（朱）文化十四年巳六月卒業　泊(元本ハ)洒舎珎藏本也
（花押）

和名類聚抄　わみょうるいじゅしょう　源順

刊二〇巻一冊　江戸初中期　27-278　L62972

○江戸初中期刊、袋綴、栗皮茶色石畳地に斜格子紋（艶出）原表紙、楮紙、25.9 × 18.7 ㌢、単辺、無界、二三五丁、一頁一三行、漢、訓点付刻、自序・元和三年（1617）林羅山序、跋なし、少虫損、元五冊を合綴か

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（右下・簽・墨）黒川
（右上・直・墨）㪚沖本二十巻本
〈外題〉『和名類聚　全』
〈内題〉・序…『倭名類聚鈔』『倭名鈔』
・目録・巻首・尾…『倭名類聚鈔』
・凡例…『新刻倭名類聚鈔』
・小口下・柱…『和名』
〈刊記〉
大坂心齋橋筋順慶町
書林　澁川清右衛門
〈巻尾①〉（墨）宇麻岐宇志跋曰此倭名抄㪚沖法師考をかしらに書しるしたりちふ書を／上田(大坂人)秋成のもたりしをかりえてうつしたる也／安永四年乙未七月／うまきうしのうつしえたる類書をかりえてうつしかでら(ママ)ところ〳〵わたくしのかふがひをくわへつ／安永四年乙未十月四日／中臣連久祢彦／六拾歳
〈巻尾②〉（墨）此書は儒士佐藤兼高後改名して中臣／兼高と称せり。（補入「及所持の本なり」）寛政のことし書肆に置／けるよし告る人あり余も兼高を知れる人なる故求得て藏本とせり／斯(ママ)もまたかふかひの所あり／又新刻注釈本あり　建中館主人

和名類聚抄　わみょうるいじゅしょう　源順

刊二〇巻五冊　江戸中期　27-279　L（なし）

○江戸中期刊、袋綴、丁字茶色格子刷毛目原表紙、楮紙、26.6 × 19.2 ㌢、単辺、無界、①五三②四四③四〇④三九⑤五五丁、一頁一三行、漢、訓点付刻、書入（朱墨褐藍）・校合（朱墨）、自序・元和三年（1617）林羅山序、跋なし、各冊表紙に目録（簽）、貼紙、補修

〈印記〉頼、〔頼〕、道
〈外題〉『和名類聚抄〔(墨)真頼本〕一』
〈内題〉・序…『倭名類聚鈔』『倭名鈔』
・目録・巻首・尾…『倭名類聚鈔』
・凡例…『新刻倭名類聚鈔』
・小口下…『和名抄』

・柱…『和名』

〈刊記〉　大坂心齊橋筋順慶町
　書林　　澁川清右衛門

〈巻尾〉（朱）一本／貞享五戊辰年暮秋吉辰　神雒銅駝坊書肆　村上平樂寺梓／以伊勢安齋翁頭書本校正了　黒川真頼
（墨）一本／寛文七丁未歳仲秋日／書林／大坂心齊橋順慶町柏原屋／澁川清右衛門版／以 普通〈大字本〉一本挍正了　真頼

和名類聚抄　わみょうるいじゅしょう　源順

写四巻一冊（六～九巻）　大正期　27-280　L63273

○大正二年（1913）写、袋綴、丁子茶色無地原表紙、楮紙（雲母引き）、23.6 × 15.5 ㌢、無辺、無界、五七丁、一頁一〇行、漢、書入（朱）、序跋なし、少汚損

〈印記〉道、前、帝図、〔東大〕、国語、「高山寺」

〈表紙〉（右・直・墨）高山寺本

〈外題〉『和名類聚抄 巻六 巻七 巻八 巻九 零本』

〈内題〉・巻首・尾…『和名類聚抄』

・小口下…『高山寺本和名抄』

〈奥書〉大正二年十二月五日写了／大槻如電

〈巻尾①〉（墨）右倭名類聚抄郷里部、起巻六盡、釐為一冊

子、栂尾／高山寺所傳也、前田松雲公、曽遣儒臣某於本寺、向影抄／者、盖公家秘籍云、予幸得一展之栄、何貶加**旃**、因竊複写／之以藏于家子孫其寶之

　明治廿七年十月念八日　散位平朝臣良弼識

〈巻尾②〉（朱）癸丑十二月念日　更一校了

〈巻尾③〉（墨）本書は大槻氏縮寫し朱書を加へしをかり／得てうつさしめつ／大正三年一月　黒川真道

倭名類聚抄　わみょうるいじゅしょう　源順

刊二〇巻五冊　江戸初期　27-281-1 ～ 5　L62727 ～ 62731

○江戸初期刊、袋綴、紅消鼠色無地原表紙、楮紙、28.7 × 20.5 ㌢、双辺、無界、①九四②一〇八③九〇④七九⑤一一〇丁、一頁九行、漢、書入（朱）、自序・元和三年（1617）林羅山序、跋なし、少破損・少虫損、補修、外題なし、原一〇冊を二冊ずつ合綴

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、「淺野源氏五萬巻楼圖書之記」

〈表紙〉（右・直・朱）活字本〔元和本〕

〈内題〉・序…『倭名類聚鈔』『倭名鈔』

・凡例…『新刻倭名類聚鈔』

・巻首・尾…『倭名類聚鈔』

・小口下…『順倭』

・柱…『和名』

天文本和名類聚抄　わみょうるいじゅしょう　源順

写一〇巻五冊　江戸後期　特27-267　L62762～62766

○天保七年（1836）写、袋綴、猩々緋色未詳紋（艶出）原表紙、楮紙、26.5×18.8㌢、無辺、無界、①八二②四五③三九④五一⑤八一丁、一頁七行、漢・訓、書入（朱墨）、校合（朱褐）、自序、跋なし、少虫損・少水損、補修

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語、「賢木園記」

〈表紙〉①右上・直・墨）下總本

①②右中・直・墨）曲直瀬本校正

③右中・直・墨）曲直瀬本校正／至比止

①右中・直・墨）春村校

①右下・直・墨）共五冊〔卅六〕

〈外題〉『天文本和名鈔』

〈内題〉・序・目録・巻首・⑤尾…『和名類聚抄』

・小口下…『天文和名』

〈巻尾〉（墨）岩寛保癸亥夏五月中弦於皇都書肆○求得之／皇鯀桑門東丗（右傍「卅」）總陽香取郡／鏑木邨法印快賢伴題／（朱）今香取郡鏑木村人平山満晴所藏／人間称異本者是又称下総本

（墨）疇昔訪於山岡子亮君主人遂謂曰比者得／見和名類聚鈔古本藏在下總國香取郡也／吾将比校於通本吾子幸為之耦焉乃示其／書點檢之則品彙叙列頓異且無官職及国／郡部於是従容而謂曰夫鑿枘既殊方圓蔑／復所容飛翅不相容而已得無遂不堪為其／用哉今閲此聿（書）復亦有焉不若兩存而貽異／同於後昆也僕請臨摹可乎主人曰諾乃齎／峒廬數日而謄寫成矣凡十巻古人稱和名／類聚鈔二十巻和名十巻林羅浮子亦謂和／名有詳略二本意者此威其略者歟如其詳／本盖後従経増修也書中多魚魯脱闕今姑／仍其舊観者審諸／丙申年仲冬　隅東日下部

（朱）右自第一至第四上下二冊以曲瀬養安院所藏古鈔／本比校之但狩谷望之校偽本稱曲直瀬本〔江戸官醫／曲直瀬君〕／〔所藏第五至三第十一六巻缺／是本間有後人改竄〕者是也／天保十三年歳次壬寅冬十一月四日／黒河春村

倭名類聚抄〔天文本〕　わみょうるいじゅしょう　源順

写五巻五冊　江戸中期　27-276-1～5　L62907～62911

○江戸中期写、袋綴、丁子引（押型）原表紙、楮紙、28.3×19.0㌢、無辺、無界、①七五②四六③四〇④五二⑤八〇丁、一頁七行、漢、校合（朱）、自序、跋なし、少虫損

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、東図、〔東大〕、国語、「堀氏文庫」、「渡邊氏」

〈外題〉『倭名類聚抄〔天文本〕　一』

〈内題〉・序・①巻首…『倭名類聚』
・目録…『倭名類聚抄』
・②巻首…『和名類抄』
・③～⑤巻首・尾…『和名類聚抄』
〈①巻尾〉（朱）岩寛保癸亥夏五月中弦日於平安城書肆求之／総陽沙門　快賢伴題
（墨）誂全宗書之　天文丙午天
（朱）天文十五丙午天後奈良帝一百一代延享二乙丑迄二百年也
〈②巻尾〉（朱）寛保癸亥天五月吉日求之／総陽沙門快賢題
（墨）誂全宗書之　天文丙午天
〈③巻尾〉（朱）岩寛保癸亥夏五月中浣於北京城書肆求之／下総州　快賢伴題
（墨）誂和仲東靖書之　天文丙午天
〈④巻尾〉（墨）誂奔俊書之　天文丙午天
（朱）岩寛保癸亥中夏吉辰於雒陽書肆求之／東海総陽　快賢伴題
〈⑤巻尾〉（朱）岩寛保癸亥夏五月仲弦於皇都書肆求之／皇鯀桑門東垂総陽香耘郡／鏑木郁法印快賢伴題

倭名類聚鈔一覧　わみょうるいじゅしょういちらん

黒川真頼抄出

写二〇巻二冊　江戸後期　27-282　L62725・62726

○嘉永元年（1848）写、袋綴、小豆色布目地に花菱繋ぎ紋（艶出）原表紙、楮紙、27.5 × 18.1 ㌢、無辺、無界、上三三・下四二丁、一頁八行、漢・片・平、序跋なし、少虫損
〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（上冊、右・直・朱）真頼抄出
〈外題〉『倭名類聚鈔一覧　上』
〈内題〉・目録…『倭名類聚鈔一覧』
・巻首・尾…『倭名類聚鈔』
〈目録末〉（直・墨）金子真頼識
〈奥書〉書をはりてよめる
たま□（寸歟）はぬ　神の御国の
言くさをかきとめにけ
ることのうれしさ
嘉永元年十一月七日　真頼

於呼等伝　をことてん

写一巻一冊　江戸後期　27-333　L67315

○江戸後期写、袋綴、狐色無地原表紙、楮紙、24.5 × 18.5 ㌢、無辺、無界、一二丁、全面点図、序跋なし、少虫損、他五冊と合帙、内題なし

〈印記〉道、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『於呼等傳　全』

〈巻尾識語〉（上部欠歟）文永十年三月念九日亥時於和州東大寺戒壇院〔点註　小比丘源真生年廿九是□（為歟）／興隆佛法済度衆生也〕

乎古止点譜　をことてんふ

写一巻一冊　江戸後期　27-338　L67242

○江戸後期写、袋綴、鳥の子地に草柳色横刷毛目原表紙、楮紙、27.0 × 18.9 ㌢、無辺、無界、八丁、漢、点図、校合（朱墨）、序跋なし、少虫損・少水損、補修、他二冊と合帙

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語

〈外題〉『乎古止點譜　全』

〈内題〉・巻首…『乎古止點譜』

［補訂］

改正増補和字便覧　かいせいぞうほわじべんらん

↓　**〔改正増補〕和字便覧**　わじべんらん

仮字拾要　かなしゅうよう　村田春海

写一巻一冊　江戸後期　27-246　L67312

○江戸後期写、袋綴、御召御納戸色無地原表紙、楮紙、23.1 × 16.7 ㌢、無辺、無界、四二丁、一頁一〇行、漢・片・平、書入（墨）、序跋なし、少虫損、二書合写（わかかつら）

〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語、「布治波良乃毛等袁宇多岐尓乎佐牟留布美良乃之留思」

〈表紙〉（右・直・朱）小林歌城書入本

〈外題〉『（朱）若かつら／假字拾要』

〈内題〉・巻首…『假字拾要』

・小口下…『カナ拾要』

漢呉音図　かんごおんず　太田全斎

刊三巻三冊　江戸後期　26-37　L66899 ～ 66901

○江戸後期刊、袋綴、舛花色布目地小葵襷に花菱原表紙、楮紙、26.8 × 19.0 ㌢、単辺、無界、上五〇・中四八・下二三丁、漢・片・梵・韓、訓点付刻、絵図（墨印）、書入（朱墨）、文化一二年（1815）自序、跋なし

〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、東図、〔東大〕、国語、「歌城」

〈外題〉『漢呉音圖　上／漢呉音徴　中／漢呉音圖説　下』

〈内題〉・序…『漢呉音圖』

・凡例…『圖徴』

・巻首・尾…『漢呉音徴』（中巻）・『漢呉音圖説』

（下巻）
・小口下…『漢呉音図』
・柱…『漢呉音徴』（中巻）・『漢呉音圖説』（下巻）
〈巻尾識語〉
（上巻、墨）文政六年十月以原本校正　歌城
同甲申之冬十月　藤原元雄
（中巻、墨）文政癸未冬日以原本校正　歌城
同甲申冬十月二日夜訂正了　藤原元雄
（下巻、墨）文政甲申冬十月訂正了　藤原元雄

漢字三音考　かんじさんおんこう　本居宣長
刊一巻一冊　江戸後期　27-291　L67306
○天明五年（1785）刊、袋綴、青磁色布目地原表紙、楮紙、25.9 × 17.7 ㌢、単辺、無界、六一丁、一頁九行、漢・片、図（墨印）、書入（墨）、天明四年（1784）小篠敏序、跋なし、広告（本居先生著述目録）、他一〇冊と合帙
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（右・直・墨）春村書入本
（右下・直・朱）卅六
〈外題〉『漢字三音考』
〈内題〉・序・目録・巻首・尾・小口下…『漢字三音考』
・柱…『三音考』
〈刊記〉天明五年乙己（ママ）仲春發行
勢州書林　松坂日野町　柏屋兵　助
同町　藪屋勘兵衛
京都書林　二條通柳馬場東入町　林　伊兵衛
寺町通佛光寺下ル町　錢屋利兵衛
〈巻尾〉（墨）安政二年四月廿六日聊以僻案令冠記于界外了
春村／翌日以宮下寛蔭本附注了

慶長板和玉篇　けいちょうはんわごくへん
↓　**慶長板和玉篇**　わごくへん

新刊和玉篇　しんかんわごくへん
↓　**新刊和玉篇**　わごくへん

新撰和訓部類　しんせんわくんぶるい　橘本稲彦
刊二巻一冊　江戸後期　27-350　L66802
○文化七年（1810）刊、袋綴、舛花色布目地原表紙、楮紙、17.2 × 12.0 ㌢、単辺、無界、九四丁、一頁八行、漢、訓点付刻、序跋なし、広告、他六冊と合帙
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、〔東大〕、国語
〈表紙〉（右・直・朱）和名抄索引

〈外題〉『新撰和訓部類』
〈内題〉・目録・巻首・尾…『新撰和訓部類』
・小口下…『和訓部類』
〈刊記〉文化七年庚午年三月　京都　額田庄三郎
書林　江戸　須原茂兵衛
西村源六
西村宗七
大阪　宮英堂　葛城長兵衛
奈良屋

箋注倭名類聚抄　せんちゅうわみょうるいじゅしょう
↓ **和名抄考証**　わみょうしょうこうしょう

天文本和名類聚抄　てんぶんぼんわみょうるいじゅしょう
↓ **天文本和名類聚抄**　わみょうるいじゅしょう

二中歴　にちゅうれき
写一三巻（巻六重複）八冊　明治期　26-191
L66470 ～ 66477
○明治一四・一五年（1881・1882）写、袋綴、胡桃染色横刷毛目（①～④）・薄柿色無地（⑤～⑧）原表紙、楮紙、26.4 × 18.7 ㌢、無辺、無界、①七三②九三③四一④六三⑤五七⑥六九⑦六九⑧八〇丁、漢、絵図（墨、五十日餅圖等）、校合（濃淡朱墨）、序跋なし、少虫損、①～④と⑤～⑧の取り合わせ本
〈印記〉頼、〔頼〕、道、前、帝図、〔東大〕、国語、「■（墨滅）氏文庫」
〈表紙〉（右下・直・墨）共八冊
〈外題〉『二中歴　一上』
〈内題〉・扉・巻首…『二中歴』
・小口下…『二中厂』
〈奥書〉⑦明治十五年二月以淺草文庫本令謄寫了／黒川真頼
⑧明治十四年十一月以博物舘蔵本書写而／補缺畢／黒川真頼

二中歴　にちゅうれき
写一三巻七冊　明治期　26-192　L63104 ～ 63110
○明治三〇年（1897）写、袋綴、群青色布目に七宝繋ぎ地（艶出）原表紙、楮紙、23.4 × 15.6 ㌢、無辺、無界、①八六②七九③八四④五九⑤七一⑥七一⑦八三丁、一頁六～七行、漢、方偶図（墨印）、書入（朱墨褐）、校合（朱墨褐）、序なし、元禄一四年（1701）中和氏跋、少汚損、切紙（底本模写）
〈印記〉頼、道、前、帝図、東図、〔東図〕、国語
〈表紙〉（①右・直・墨）前田侯爵家本影寫　共七冊
〈外題〉『二中歴　一』

〈内題〉・扉（二種）・①巻首…『二中歴』
〈奥書〉明治三十年五月以博物館蔵本令書寫了　黒川真道

墨林奇標　ぼくりんきひょう　宮沢雲山・守村鷗嶼
　刊二巻二冊歟（二冊目欠）　江戸後期　27-344　L67400
○江戸後期刊、袋綴、錆青磁色無地原表紙、楮紙、8.0 × 15.8 ㌢、単辺、墨界、七〇丁、一頁一三行、漢、訓点付刻、書入（墨）、文政一〇年（1827）詩仏老人題、跋なし、少虫損、他一〇冊と合帙
〈印記〉頼、〔頼〕、道、帝図、国語
〈外題〉『墨林奇標』
〈内題〉・巻首・尾・背…『墨林奇標』

眠病集　みんごしゅう
　→ **和語対類**　わごたいるい

倭名所夢の歩行路　やまとめいしょゆめのあゆみじ
　写一巻一冊　江戸後期　27-237　L67200
○天保七年（1836）写、袋綴、利休白色無地原表紙、楮紙、26.9 × 20.2 ㌢、単辺、墨界、六八丁、一頁八行、漢・平、天保七年自序、跋なし、見返し裏に「冬日二首歌　藤原真道」
〈印記〉頼、道、帝図、〔東大〕、国語、「无染」、「字範二」、「解脱堂」
〈表紙〉（題簽右傍・直・墨）草稿本
〈外題〉『倭名所夢の歩行路』
〈内題〉・序傍（朱）・巻首…『倭名所夢能歩行路』
　・尾…『倭名所徃来』
　・小口下…『日本名所来徃（ママ）』
〈識語〉于時／天保七年丙申二月八日發豆而〔至四日四／日止筆〕

（ふじもと　あかり　国立国語研究所　特任助教）
（いむ　じよん　大学院人文社会系研究科　大学院研究生）
（たなか　そうた　日本学術振興会特別研究員・ＰＤ）
（なぐも　ちかこ　大学院人文社会系研究科　博士課程三年）
（おの　きょうた　大学院人文社会系研究科　修士課程二年）